

ご利用案内

通常投映日時＝土・日・祝日

通常投映時間・内容(7月～9月)

11:00(幼児～小学生向け)	13:30(小～中学生向け)	15:00(高校生～大人向け)
<p>それいけ!アンパンマン ～星空をかえせ～</p> <p>ドラえもん 宇宙ふしぎ大探検3 ～地球のふしぎ～</p> <p>ほしのおはなし(星空解説)</p>	<p>アリオンとイルカ</p> <p>ドラえもん 宇宙ふしぎ大探検3 ～地球のふしぎ～</p> <p>星空解説</p> <p>※9/9(土)「親子プラネタリウム」は別 内容となります。</p>	<p>4D2U 天の川銀河</p> <p>星のせせらぎ アクアヒーリング</p> <p>星空解説</p>

※ご希望による投映も行います。事前予約が必要となりますので、詳細はお問い合わせください。

観覧料

高校生以上(個人)	510円
高校生以上 (団体20名以上)	410円
中学生以下	無料

☆博物館パスポート1枚につき、
高校生以上1名無料

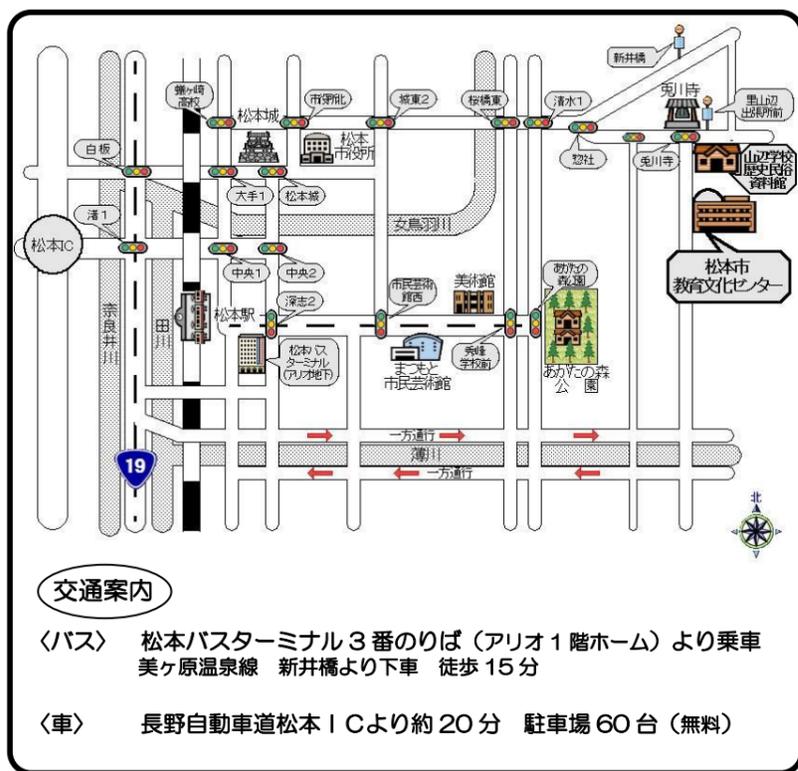
☆転入世帯優待券1枚につき、
1世帯家族無料

☆障害者手帳持参により、
本人とその介助者1名無料

☆市内在住70歳以上の方は無料

☆その他、各種イベント開催時には無料

アクセス



松本市教育文化センター

〒390-0221 松本市里山辺 2930-1
TEL:0263-32-7600 FAX:0263-32-7604
E-mail: kyoubun@city.matsumoto.lg.jp

星空クイズ! (みずがめ座編)

「幸運中の幸運」という意味をもつ3等星は?

- ①サダルメリク ②サダルスウド
③サダクビア ④アルバリ

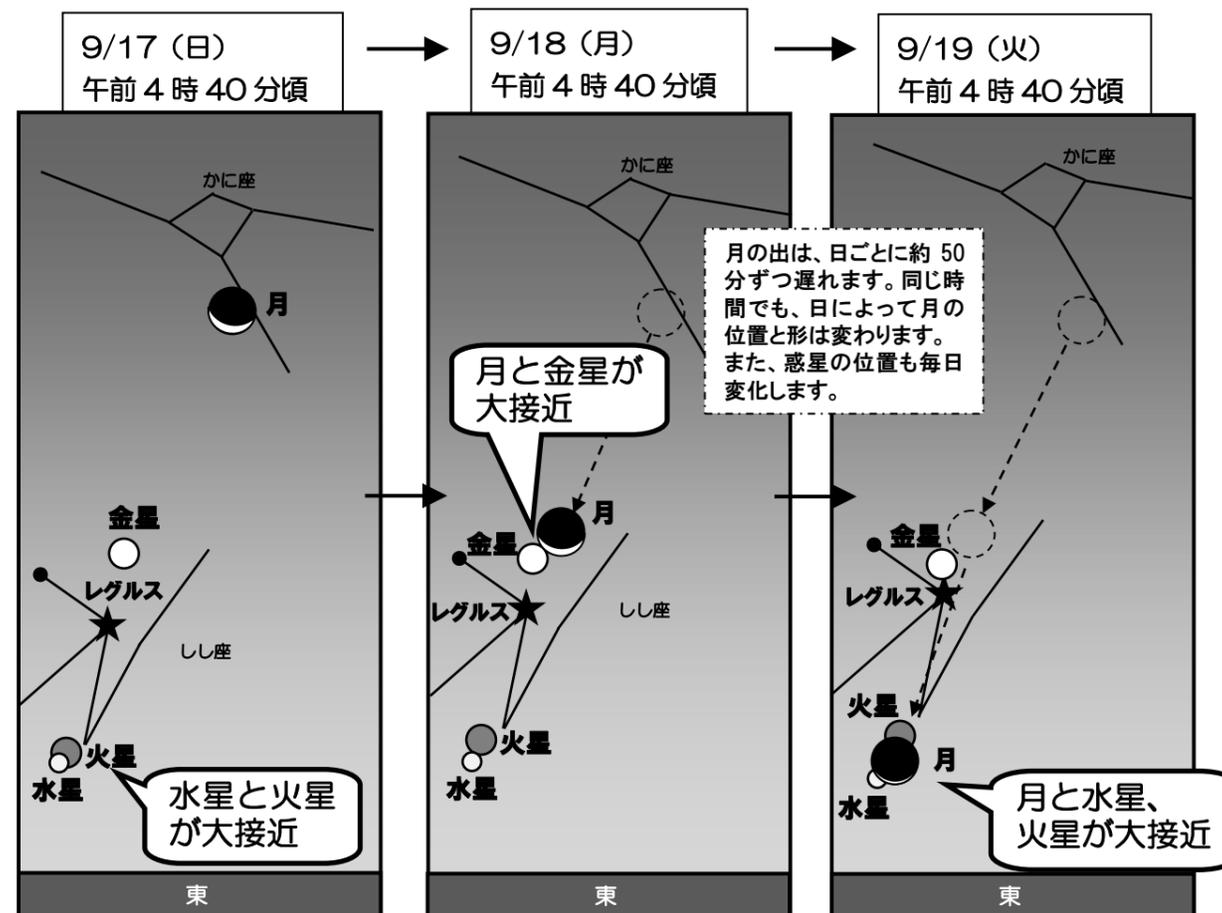
☆ 教育文化センター プラネタリウム通信

ほしみる

No.51 2017.9.2

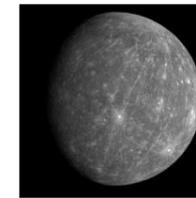
惑星たちのランデブー

ランデブーとは、別の軌道を持つ人工衛星や宇宙船などが宇宙空間で接近する時に使われる言葉です。また、月や惑星が地上から見かけ上接近する際にも使われるようです。



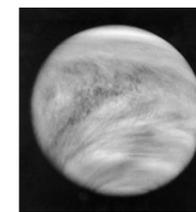
水星

太陽系で1番小さくて軽い岩石惑星です。表面がクレーターで覆われています。公転速度が速く、1年が88日で終わります。昼夜の温度差が大きいです。



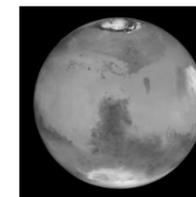
金星

地球の大きさと重さがほぼ同じである岩石惑星です。自転軸の傾きが大きく、地球と逆方向に回転します。いつも雲で覆われ、地表の様子を観察するのが大変困難です。秒速100mにも及び高速の風(スーパーローテーション)が吹いています。



火星

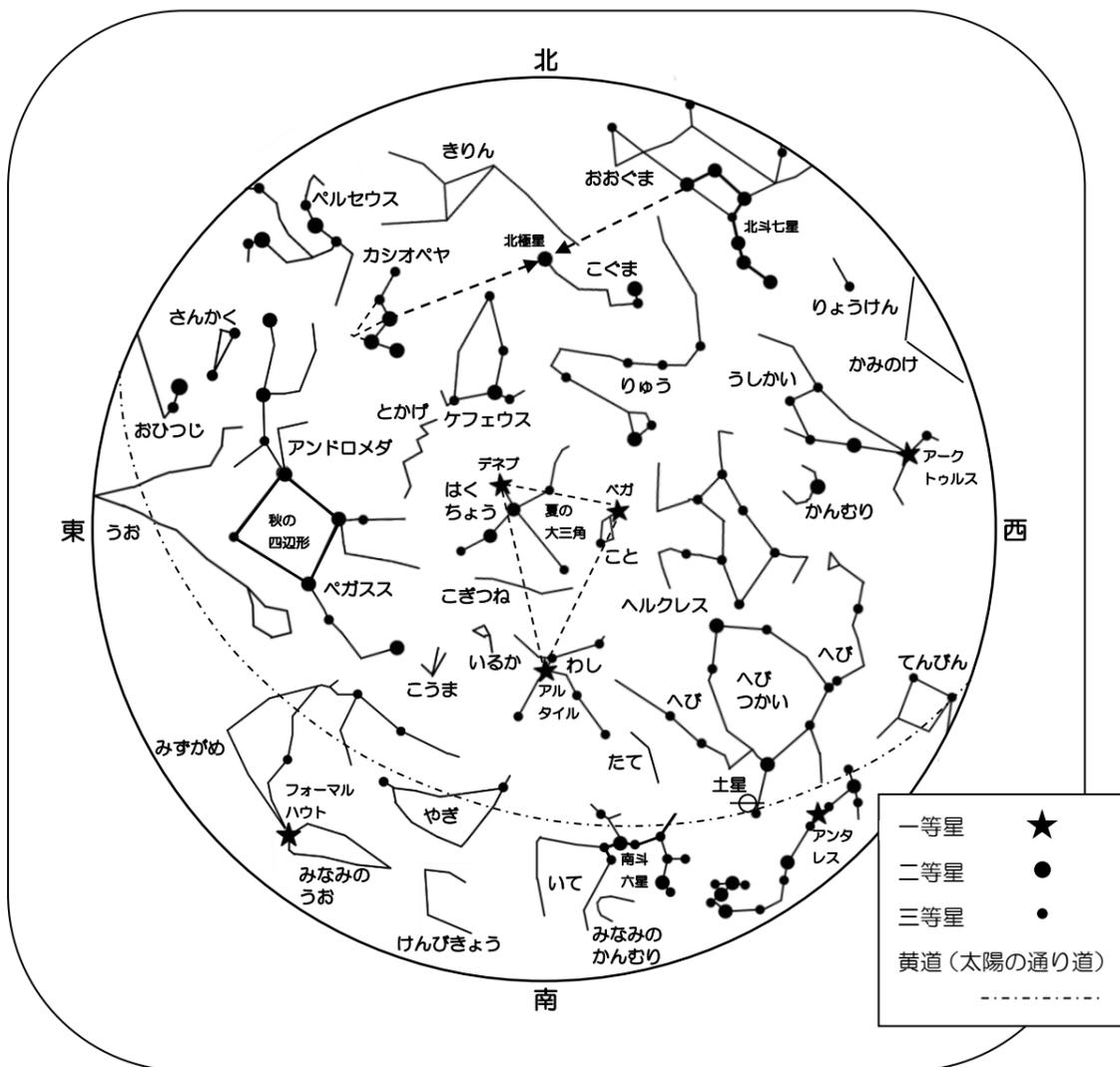
地球と似た構造を持つ岩石惑星です。地表はさびた鉄を含み赤く見え、北極と南極はドライアイスで覆われています(極冠)。生物や水の存在を求めて、調査が続いています。



9月中旬になると、明け方東の空では「明けの明星」として輝く金星に、高度を上げる水星と火星が加わり、3つの惑星がそろいます。17日～20日は惑星同士の大接近や、月や1等星との接近を楽しむことができます。

季節の星空

9月15日20時頃の松本の星空



9月の主な天文情報

- 5(火) 海王星がみずがめ座で衝(一晩中)
- 6(水) 満月
- 12(火) 水星が西方最大離角(日没直後)
- 17(日) 水星と火星が大接近(日の出直前)
- 18(月) 細い月と金星が大接近(日の出直前)
- 19(火) 細い月と水星、火星が大接近(日の出直前)
- 20(水) 新月、金星とレグルス(しし座の1等星)が大接近(日の出直前)
- 22(金) 月と木星が接近(日没後~19時頃)
- 23(土) 秋分の日
- 27(水) 月と土星が接近(日没後~22時頃)

衝→外惑星が地球を挟んで太陽と正反対の位置にあること。このとき惑星は一晩中観測でき、大きく明るく見えます。

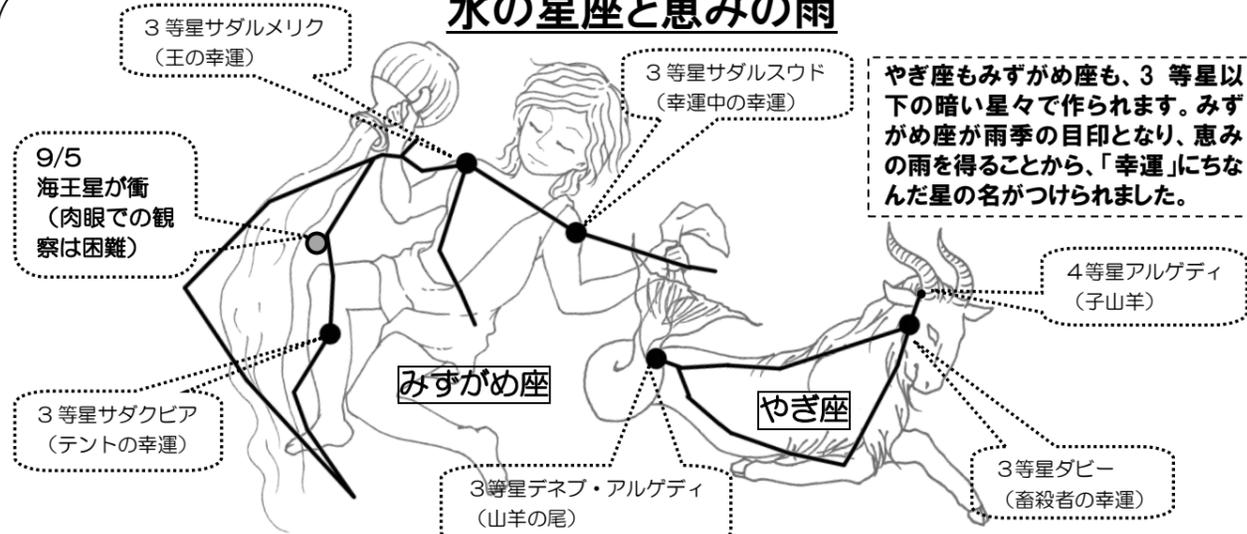
西方最大離角→地球から見て、内惑星が太陽から西へ最も離れて見える角度。地上からは、日の出直前の東の空で惑星がよく見えます。

☆ ☆ ☆ プラネタリウム事業案内 ☆ ☆ ☆

- 9/9(土) ☆親子プラネタリウム 13:30~
親子連れの方を中心に楽しめる、番組の投映と解説を行います。今回のテーマは「月」です。申し込み不要。当日先着90人
- 9/16(土) ☆星空散歩・星の観望会 18:30~20:00
天体望遠鏡を使って、季節の天文現象を観測します。(観測ができない天気の場合はプラネタリウムをご覧ください。)
受付開始:9/9(土) 8:30より
定員:40人(小学生以上。高校生以下は保護者同伴)
- 9/30(土) ☆星空散歩・星の観望会 18:30~20:00
天体望遠鏡を使って、季節の天文現象を観測します。(観測ができない天気の場合はプラネタリウムをご覧ください。)
受付開始:9/23(土) 8:30より
定員:40人(小学生以上。高校生以下は保護者同伴)

※事前申し込みが必要な事業についての受付は、電話受付のみとさせていただきます。

水の星座と恵みの雨



9月になり、秋の訪れを一足早く告げるのは、逆三角形の「やぎ座」です。古代ではこの逆三角形を「神々の門」と呼び、人間の魂が天国へ行くときの入り口だと考えられました。やぎ座は下半身が魚となっていますが、古代メソポタミアでは、知恵と水の神エンキの象徴である山羊と魚が一つになった姿と言われています。

隣にあるのは、水瓶をかつぐ少年の姿をした「みずがめ座」です。古代エジプトでは、水瓶からあふれ出た水によりナイル川の洪水が起こると考えられました。古代メソポタミアでは、みずがめ座に太陽が来る頃に雨季を迎えることから、生活に深いつながりを持つ重要な星座とされ、周辺にやぎ座やうお座など、水に関係する星座が作られたそうです。